

こう きょう じゅく  
障がい者 支援施設 **興郷塾だより**

= 第 61 号 =

令和2年6月30日

発行者：社会福祉法人 愛護会 興郷塾

住所：岩手県奥州市水沢羽田町字水無沢 2 - 1

TEL 0197 (25) 5058 FAX 0197 (24) 7458

責任者：村上 和男

印刷：あべ印刷株式会社

URL：http://www.aigokai.jp

メールアドレス：koukyou@aigokai.jp





## 『新年度を迎えて』

施設長補佐 菊池 勝行

令和二年度がスタートし、早いもので三ヶ月が経過をしました。

何かと慌ただしい日々を過ごしておりますが、その要因は前号でも触れた「新型コロナウイルス」によるものが大きいと思われます。

利用されている皆さんは、外出・外泊等も自粛し、各種行事も見送られる等、様々な部分で我慢の日々でありました。

現在では緊急事態宣言も解除となり、六月より外出等も再開しておりますが、いわゆる「新しい生活様式」の実践例を基に、「バイタルの確認」「マスクの着用」「手指の消毒」「三密を避ける」事等に配慮をしながら活動を行っております。

幸い、岩手県では感染者が出ておりませんが、今後も施設を利用されている方々の健康管理を徹底し、安心・安全な生活が送れるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

## お花見昼食会



美味しいね

## お花見昼食会

生活支援員

小澤 道広

待ちに待ったお花見！という事でしたが、新型コロナウイルス感染症予防対策の為、今回のお花見は、施設内で行う事となりました。興郷塾の敷地には桜の木があり、満開ではありませんでしたが、桜を見る事が出来ました。昼食は豪華な二段お花見弁当を食べ、満足しておられました。





# 活動の様子

コロナウイルス対策をしながら活動をしています

せせらぎ公園に行ってきました!

## パン食い競争



## 散歩

あと少し~



## カラオケ



やったー!



## ボウリング

当たるかな?



## 『旬の食材』

栄養士 照井歩美

給食だより

六月に入り梅雨の季節が近づいてきました。最近では気温も上がり、暑い日が続くようになってきました。市場では、食材の顔ぶれもだんだんと変わり、夏野菜や果物が並ぶようになりました。とはいえ、農業技術の進歩によって年間を通して栽培される野菜が増えたことで、店頭に並ぶ食材から旬が分かりにくくなっています。しかし、旬の野菜と季節はずれの野菜とでは栄養価が「約三倍」違うともいわれているそうです。間もなくやってくる本格的な夏に備え、六月は滋養のある旬の食材や果物をメニューに取り入れ、体調管理のサポートをしていきたいと思っています。





# 新職員挨拶



藤原 博子

照井 歩美

佐藤志保子



四月より異動して参りました生活支援員の藤原博子と申します。前任地のフレンドワークさくらかわでは七年半勤務しております。入所施設での勤務は初めてとなり、通所施設との業務の違いに慣れないこともあり、利用者さん方がより良い生活を送れるよう支援に励みたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

この度、希望の園より異動して参りました看護職員佐藤志保子と申します。まだまだ不慣れで至らぬ部分も多々ございますが、日々努力を重ね、利用者の皆様の健康面をサポートしたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

四月から栄養士として働いております。三月まで北上市の小規模保育園に勤務してまいりました。以前、障がい者支援施設に勤務したこともありましたが、興郷塾でのお仕事はとても新鮮で、日々勉強させて頂いております。温かい利用者の皆様、そして親切な職員の皆様と一緒に仕事をさせて頂いてる事に感謝し、栄養士として頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

## 保健だより

### 『健康管理 新年度に向けて』

看護師 岩 淵 守

令和二年度が始まりました。新型コロナウイルスがパンデミックを起こしている中、幸い岩手県はまだ感染者が出ていません。

しかしながら当施設の利用者は、心疾患や生活習慣病など基礎疾患を抱える方が多く、感染すると重篤に陥る可能性が有り予防の徹底を図る必要があります。不必要な外出を避けマスクの着用や手指の消毒等あらゆる手段を講じる必要があります。今後感染の拡大がどうなっていくのか先行きの見とわが付かない中、様々な情報を収集しながら予防に努めたいと思っております。



## 畑を作りました!



活動の中で取り組んでいます

ブログ更新中!  
ぜひチェックして下さい!  
コメントもお待ちしてます

愛護会

検索

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響により様々な行事を行うことが出来ず、大変心苦しい日々を送っています。しかし、その中でも利用者の皆さんに楽しんでいただけるよう、三密を防ぎながらレクリエーション等を行っています。少しでも早く日常に戻るようお願いながら、職員一丸となりコロナウイルスの予防に取り組んでいきたいと思っております。

(立柳)